

# 出 会 い の 森

玉津小学校便り No. 4

(令和2年7月3日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

## 「どれだけ伸びたか」 ～相手を認める言葉がけ～

校長 坂元 裕則

梅雨の晴れ間、さわやかに澄みきった青空の日。グラウンドから子どもたちの「がんばれー！」の声援が聞こえてきます。今日も元気がいいな！と思いながらグラウンドに出てみると体育のリレー走に取り組む子どもたちの熱い姿がありました。自分の走りだけでなく、仲間と協力し合って、励まし合いながらバトンをつなぐ懸命な姿は何度見ても心に響きます。レースが終了し、担任の先生が子どもたちを集め、「前回よりも良いところがまた増えたね」という言葉がけがありました。子どもたちも「バトンパスが良くなった」など自分やチームの“良くなったところ”や“伸びたところ”をきちんと評価することで、手ごたえを感じているようでした。確かに子どもたちの中にはレースに負けたことで純粋に悔しい思いをする子どももいます。しかし、「前回よりも良いところがまた増えたね」の視点で言葉がけをすることで、子どもたちの努力を認め、さらには子どもたち自身が良くなったところや伸びたところに気づき、これからも頑張ろうという自信が生まれるのではないのでしょうか。「できた」、「できていない」も大事ですが、それ以上に「どれだけ伸びたか」という視点を持つことが必要だと思います。



「どれだけ伸びたか」。この言葉は私自身の成長の一助になっているような気がします。特に印象に残っているのは、私が小学校1年生から習い始めた剣道で、最初に手ほどきを受けた“中尾 巖先生”の存在です。剣道八段、笑顔が素敵で優しさと厳しさが滲み溢れた先生でした。そのイメージが今でも鮮明に残っています。私は中尾先生が大好きで、毎回剣道を習う日が楽しみでした。先生はいつも「できなくてもいいんだよ。それよりもどれだけ伸びたか、良くなったかを先生は大切にします。だから失敗を恐れずにやりなさい。」とおっしゃっていました。実際、先生から「少しずつできるようになったね。前回よりも良くなっているよ。よく頑張っている。えらいぞ！」と言葉がけを頂くと「自信」と“意欲”が高まったような気がしました。その言葉が心の励みとなり、当時から51年経った今でも好きな剣道が続けられていることに感謝したいです。

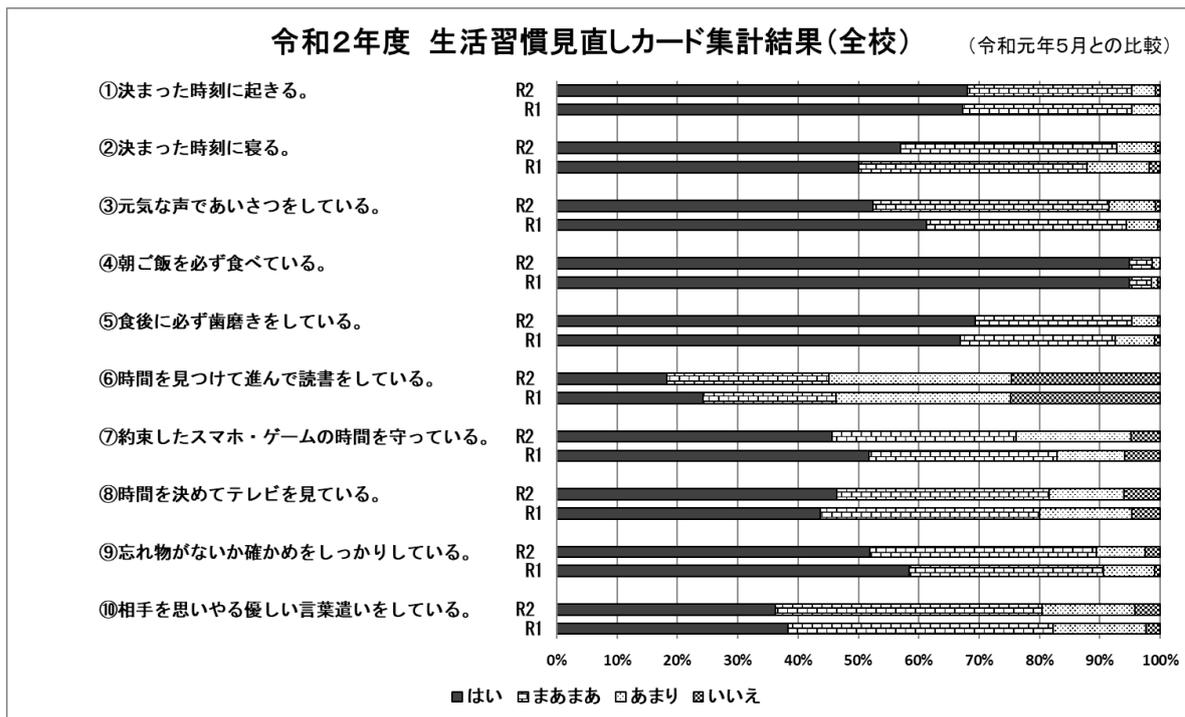


学校が再開して1ヶ月が過ぎました。1年生の子どもたちもようやく学校生活に慣れてきたようです。毎朝の登校時に泣いている子どもや元気のない子どもたちに「もう少しやで。昨日よりもよく頑張って歩いたね。今日は泣かないで登校できたね。」と子どもたちを励まし、共に歩き、見守り活動を続けて頂いている地域の方々には感謝の思いと私の剣道の恩師である中尾先生の言葉がけが重なります。子どもたちはきっと心の励みになっています。

「どれだけ伸びたか」。子どもを見つめる大切な視点。そこには「認める」思いがあります。玉津の子どもたちがこれからもたくましく成長することを願っています。



## 「生活習慣見直し週間（6月8日（月）から6月14日（日）」を振り返って



「生活習慣見直し週間」は、例年5月上旬に実施していますが、今年は6月の第2週に実施しました。臨時休校の影響を把握するため、昨年度の集約結果と比較しました。

また、5月末から6月初旬に実施しました「臨時休校中の家庭生活の状況」を把握するためのアンケートでは、

【臨時休校中の家庭生活の状況調査結果（一部）】（5月末～6月初旬に実施）	
午前7時より遅くに起きていた児童	30%
午後10時より遅くに寝ていた児童	28%
食事をとらないことがあった児童	6%（特に朝食が多い）
ゲームを1日2時間以上していた児童	37%
学習以外の動画を2時間以上視聴していた児童	28%

という結果でした。

上のグラフでは、「起床」や「就寝」、「食事」などの生活習慣については昨年度とほぼ同様であり、最も基本となる生活習慣は、ほぼ通常の状態に戻っていると捉えることができます。

その中で、「③ 元気な声であいさつをしている」と「⑦ 約束したスマホ・ゲームの時間を守っている」は、「はい」「まあまあ」を含めた割合が、昨年度より少し減少しています。あいさつは、昨年に比べ「声を全く出せていない子」をより多く見かけるようになってきています。新型コロナウイルス感染防止のため基本としてマスクの着用を指導している影響が大きいと考えられます。大きな声は出さなくても、気持ちのよくあいさつすることの大切さを伝え、指導を継続していきますので、引き続き、子どもたちに声をかけていただきますようお願いいたします。

また、スマホやゲームの時間については、臨時休校中の影響が残っている家庭も見受けられることをコメントから把握することができました。各家庭で、使用する場合は時間を決め約束を守るようお願いいたします。

最後に、「⑥時間を見つけ進んで読書をしている」は「はい」の割合が減少しています。「休校中は時間があり読書をしていましたが、学校が再開し読書の時間がとれていない」や「たとえ10分でも家族みんなで読書する時間をつくるようにしたい」というコメントもありました。長期の臨時休業で取り組んだ読書を時間は短くても継続したり、各家庭で工夫して読書に向かう時間を増やしたりしていただけるとありがたいです。